日時　４月１７日（月）
テーマ　「４月１５日は第五小学校の開校記念日」

　新学期が始まり、１０日間が過ぎました。今週から１年生も一緒に全校朝会に参加します。
しっかり校長先生や週番の先生のお話を聞いて、１週間を過ごしてください。

　さて、４月１５日。この日は何の日でしょうか。わかる人はいますか？そうです。第五小学校の開校記念日です。昨年、第五小学校は開校７０周年の節目の年を迎えました。そのお祝いの集会の時に、２年生以上のみなさんに向けて、第五小学校のこれまでの歴史をお話しました。今年、７１周年になりますが、第五小学校には二つの歴史があって、始まりは、源正寺そして延命寺のお寺の学校、寺子屋から始まり、１４０年以上の歴史があること。その後、小学校から今の中学校くらいにあたる高等小学校に変わったので、小学校としての歴史が止まったこと。第二次世界大戦中には、学校にも爆弾が落とされたこと。昭和２１年、７１年前に新たに第五小学校がスタートしたこと。開校したころは、窓ガラスもない教室で勉強していたこと、地域や保護者の皆さんが学校をよくするために一生懸命に活動されたことをお話しました。
　さて、第五小学校の歴史について、この４月に校長先生が気がついたこと一つあります。それは、桜の花を見てでした。教室を回っていた時のことです。北校舎の３年生の教室から３階の４年生の教室へ階段を上がると、りっぱな桜の木。校舎の北側にももう一本、大きな桜の木。その木を見て、どうして校舎から見えにくいところに桜の木が植えてあるのかを考えました。そして、次に気づいたのが、校舎の北側の門の柱です。立派な高い柱で、今はない表札のところがへこんでいます。昔の写真をよく見ると、今、みなさんが通る校門はありませんでした。つまり、校舎の北側に校門があってそこから子供たちは登校していたのです。だから、大きな桜が校舎の北側に植えてあって、皆さんを迎えていたのだなと納得しました。
　学校には、これまでのいろいろな出来事、歴史というものがあって、その時、その時にいた先生方や子供たちや地域・保護者の方々が学校をよくしようとがんばってきた上に、いまの私たちがいるのです。歴史を知ることは、今の自分たちを考えることになると思います。
そして、今の歴史をつくっているのは皆さんなのです。つまり、よりよい学校をつくるのは皆さんです。開校記念日にあたり、考えてみてください。お話を終わります。